

科目名称:発達心理学 I					
担当者名:岡本 茜					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年前期	講義	選択	2	社会福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り		ナンバリング		14202011
授業概要:人間の受精・誕生から死に至るまでの発達過程における各時期の発達の特徴を学び、発達を規定する要因と発達機制を学ぶ。また、発達に関する心理的な諸機能の中で認知発達を中心に取り上げる。					
到達目標:人間の発達過程における各時期の発達の特徴を理解し、発達を規定する要因と発達機制を学ぶ。また、認知発達を中心に取り上げ、人が周囲の環境との相互作用を通じて如何に外界を理解し、知識を構成していくのかを理解する。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 発達心理学の目的と方法			大学図書館などで、関連図書を選択し、講義内容について自主学習を行うこと(90)		
第2回 発達の原理ならびに発達段階・発達課題			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第3回 時期の発達の特徴(1)乳幼児			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第4回 各時期の発達の特徴(2)児童期			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第5回 各時期の発達の特徴(3)青年期			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第6回 各時期の発達の特徴(4)高齢期			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第7回 発達に影響する個体と環境(経験)要因			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第8回 発達を規定する要因と発達機制			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第9回 運動発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第10回 言語発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第11回 認知発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第12回 社会性の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第13回 環境の果たす役割			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第14回 発達援助のあり方			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第15回 まとめ			学習内容について振り返り、まとめておく(120)		
履修に必要な予備知識や技能:大学図書館などで、発達心理学に関する図書を選択し読んでおくこと。					
課題に対するフィードバック:授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。					
評価方法・基準:受講態度(授業への参加度)(20%)、定期試験など(80%)に基づいて総合的に評価します。					
教科書:教科書:中道圭人・小川翔大編、(2021)「教育職・心理職のための発達心理学」、ナカニシヤ出版					
参考書:「中学校学習指導要領」文部科学省、「高等学校学習指導要領」文部科学省、「中学校学習指導要領解説 社会編」文部科学省、「高等学校学習指導要領解説 公民編、福祉編」文部科学省					
備考:本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroom や youtube などを用いることがあります。講義内容に関連した課題、テーマなどについて、考察・意見交換・発表などを行います。					
実務経験の内容・期間:医療領域(精神科、約4年)、教育領域(スクールカウンセラー・学生相談室、約16年)、臨床心理士・公認心理師。					